

7月号での様子



あと少しで収穫です！

梅雨があけて、稲はみちがえるほどに成長しました。同じ田んぼの同じ場所での写真です。丈が伸び、株も増え、草にも負けずに成長しています。茎の中では「穂」を蓄え、「出穂」に向けての準備期間の状態です。



この白い小さな「穂」に栄養を蓄え、お米1粒1粒を形成していきます。8月半ばには、皆さんの知っている大きさにまで成長します。



8月1日の様子



稲刈りのために準備する事

8月に入り早場米地帯の私達の地域では、稲刈りの準備が始まります。今月は「稲刈りの準備」を皆様にご紹介したいと思います。

まずは、「コンバイン」と呼ばれる刈り取り用の機械の点検整備。1年間使っていないため、動作確認、消耗品の交換等しっかりと行います。整備をおろそかにし、稲刈りが始まってすぐに故障なんて事が無いようにしないとイケません。

コンバイン⇒



そして「乾燥機」の点検整備。刈り取った籾の乾燥調整を行う箱型の機械です。中も外も清掃して、不具合の有無をチェックします。



乾燥機

「籾すり機」「グレーダー」の点検整備。調整後の籾からお米を取り出し、良質の粒の選別に欠かせない機械です。消耗品の点検と清掃をします。消耗品の点検を怠ると、籾殻が残る原因にもなりかねます。



籾すり機



グレーダー

最後に作業場の片付け、清掃。虫などの混入が無いよう清掃し、稲刈りに向けて機械の配置や、新米の収納スペースを作ります。

あきたこまち



お盆明け、8月20日頃には「あきたこまち」の刈り入れが開始できそうです。「ミルクQueen」「コシヒカリ」の収穫は9月に入ってからのなるかと思われます。

8月末には皆様の食卓に、「新米あきたこまち」お届けできたらと思います。(天候により刈り入れが遅れる場合があります。)

あぜ道だより